



6月議会閉会日 予算に反対した内容

彦坂和子議員が閉会日(6/23)、本会議場で6月議会に提案されている補正予算で反対した内容の一部を紹介します。

18歳以上の方は投票に出かけましょう

参議院議員選挙 投票日は7月10日

- ・投票日当日 午前7時から午後8時まで
- ・当日投票に行けない方は、期日前投票所へ



●期日前投票所は市内5か所 選挙日より(市広報6月号とあわせて配布)から

市役所本庁舎 11階 1101会議室、尾西生涯学習センター2階 会議室、木曾川体育館1階 会議室、西成公民館(西成出張所)2階 中会議室、尾張一宮駅前ビル 中央図書館6階 多目的室1(7月4日から)

*「選挙のお知らせはがき」をなくされた場合でも、選挙資格があれば投票できますので、その場合は投票所の受付にお申し出ください。

●不在者投票が利用できる場合

*長期出張、就学、出産など一宮市を離れている方

滞在先の市町村で不在者投票ができます。一宮市選挙管理委員会へ投票用紙の等の請求をしてください。



*指定された病院や老人ホーム等に入院・入所されている方

不在者投票のできる施設として指定されている場合は、施設内で不在者投票ができます。入院・入所中で不在者投票を希望される方は、各施設でご確認ください。

*お身体が不自由なため外出が困難な方⇒郵便等による不在者投票

身体障害者手帳・戦傷病者手帳など交付されている方で、表①に該当する方は、郵便による不在者投票ができます。あらかじめ「郵便投票証明書」の交付を受ける必要があります。さらに、表②にも該当する方は、「代理記載人」となるべき人を届け出ることにより、代理記載制度を利用することができます。表①、表②については、「選挙日より」に記載。



●代理投票、点字投票について

病気や怪我、目が不自由などの理由により、字を書くことができない方は、投票所にお申し出ください。代理投票、点字投票により投票できます。

問い合わせ先 一宮市選挙管理委員会 ☎28-8958

●市民税費 税証明コンビニ交付システム導入業務委託料 2745万6千円

マイナンバーカードを利用して、全国のコンビニで所得課税(非課税)証明書がとれるようにするため、現在住民票や印鑑証明等でコンビニ交付サービス提供に使用している証明書発行サーバーに、市民税のデータを連携するなどの改修を行うものです。

●総合行政システム(基盤住基系) 戸籍管理システム改修委託料 1567万9千円

戸籍事務へのマイナンバー制度導入に向けたシステム改修を行うもの。2023年完成めざし、ネットワークを使って戸籍を全国どこの自治体でも取れるように改修するもので、委託先は富士通ジャパン。

●個人番号カード関連業務委託料 5963万9千円

マイナポイント事業の第2弾として、マイナポイントの予約・申し込みや健康保険証登録、公金受け取り口座の登録について、操作方法がわからない市民、スマートフォンやパソコンを持っていない市民に対して、市が操作の支援や問い合わせに対応するための予算です。6月30日からマイナポイントの制度が始まる予定で、1人でも多くの住民がマイナポイントを利用できるようになることが目的です。



*2016年1月から希望者に対し顔写真やICチップの入ったマイナンバーカードを交付しています。カードの交付率は2022年5月末現在 一宮市41.8%、県44.5%、国44.7%。政府が国民1人ひとりに生涯変わらない番号をつけ、多くの分野の個人情報をもつづけして利用できるようにすること自体、プライバシー権の侵害の危険をもつ重大な問題ではないでしょうか。

*政府は、2022年度末までに全ての国民が取得できることを目標にしており、市もその方向で動いています。国民がカードを使わざるを得ない状況を作り出すため、2021年からマイナンバーカードを健康保険証としても使用可能とするなどの健康保険法改正法、戸籍事務とマイナンバー制度を結びつける戸籍法改正を2019年通常国会で成立させました。普及促進のため21年度補正でマイナポイント第2弾に1兆8134億円計上、22年度予算で、市町村へマイナンバーカード交付事務費補助金616億円など、巨額の費用を計上しています。



裏面に続きます⇒

*さらに政府は、マイナンバー制度の仕組みの拡大を進める考え。さらなる個人情報の集積により、個人情報の漏えいの危険は高まります。

マイナンバー制度存続の是非を含めて立ち止まって見直す時と考え、マイナンバー関連の予算は認められません。



請願書第 21 号「千秋町浅野羽根地域に計画されている巨大物流倉庫建設中止を求める件」の賛成討論行いました。一部を紹介します

市内ではこれまで多くの住民が住む住宅地の近くで物流倉庫が建設された例はない。2つの会社が合計3万3千㎡の水田を埋め立て、高さ17m以上の倉庫をそれぞれ建設する予定。周辺地域では、多くの住民が「水害の危険の増大」「騒音・振動による健康被害が心配」と倉庫建設反対の意思を示している。1月「浅野羽根地域住民の生活環境を守る会」結成、1月に市議会に建設反対の陳情書と署名提出、3月市議会に建設中止を求める請願書提出、5月市長宛てに「許可しないことを求める陳情書」提出、市長からの回答はなかった。5月24日 住民の強い反対を押し切って、市が1社に対して物流倉庫建設の開発許可を出したことについて、6月7日不服審査請求書を提出。市が許可したことについて怒りが広がっている。

この地域は、市が作成した防災マップで3～5メートル浸水想定地域で過去にたびたび水害が起きている。予定地の水田は、西側道路や飲食店敷地、南側の道路より約1m低くなっており、東側住宅街に降った雨を含めて周辺に降った雨をためることで、天然の調整池の役割を果たしてきた。保水能力が大きい広大な水田を埋めれば、水害の危険はさらに増大し、地域住民の生命、安全な生活、財産が守られないことになる。

広大な水田を埋め立てることでのどの程度の貯留・保水機能が失われるのか、貯留・保水機能が失われることで周辺の住宅街に対して、浸水被害が生じる可能性がどの程度あるか、過去の浸水被害の状況も踏まえて、シミュレーションが行われていない。

騒音や振動による健康被害について 物流倉庫は24時間稼働する計画であり、倉庫での荷物の積み下ろしやトラックの騒音、光、振動による住民への健康被害が強く懸念される。さらに、この倉庫は冷凍・冷蔵倉庫で、冷凍・冷蔵のための室外機の騒音、冷凍・冷蔵トラックの騒音は通常のトラックより大きく住民への健康に重大な健康被害を与える。



また、住宅地の真ん中にある市道をトラックが通行することになっている。この道路は、千秋南小学校、千秋中学校、大成中学・高校、県立一宮南高校の学童や学生の通学路になっている。交通量の増加やトラックの出入りなどで視界が悪くなり、交通事故の増大など、子どもたちや住民への安全など懸念される。24時間稼働で、住民が眠っている深夜もトラックや通勤する車が住宅地の中を走行することで住民の不安は高まっている。



日本の食料自給率は約40%、農地を守ることは重要。農地法第1条「この法律は国内の農業生産の基盤である農地が現在及び将来における国民のための限られた資源であり、かつ地域の重要な役割をも踏まえつつ — 国民に対する食料の安定供給の確保に資することを目的とする」としている。市はその立場に立つことが求められる。

市は、何よりも住民のいのちや財産を守る、住民の安全安心な生活環境を守ることを最優先にすべきです。議会は「住民が倉庫建設は中止をしてほしい」という多くの住民の声をしっかり聞くべきと考えます。



賛成討論の後請願の採決が行われ、反対33多数で、不採択となりました。賛成したのは、宇山祥子・後藤美由紀議員と私の3人でした。

継続審査となっていたその他の請願書(8件)は、全てまた継続審査となりました。(ひこさか和子)

読者の声

○5月に「年金額改定通知書」が届き、4月からの年金額は年間で約4,600円も減額です。大根1本100円が200円以上になり、大根1本買うにもすごく考える状況で、物価の値上がりで本当に苦しい生活です。年金を増やすようにしてほしい。高齢者をもっと大事にしてほしいと思います。(80代女性)



○うちの長男は、大学生の孫の授業料などの支払いのため、毎月10万円出していると話しています。授業料を半額にしてもらえると本当に助かります。お金の心配なく大学で学べるようにしてほしいと思います。(70代女性)



<読者のみなさんへ> 次回の「シャトル」は休みます。